

閉鎖系植物栽培室利用案内

(ver. 2, Apr. 2015)

筑波大学の施設で遺伝子組換え実験をおこなう際には、筑波大学遺伝子組換え実験従事者講習会を受講すると共に、学内者を実験代表者とした遺伝子組換え実験計画申請を学内委員会に行い、実験開始前に承認を得る必要があります。そのため利用にあたっては、本学内の受入教員を決め、実験申請に関する情報提供を受けるとともに、実験植物の栽培、管理、掛かる消耗品等について合意を得て頂く必要があります。

仕様

- 栽培室 1 および 2 (奥行 6.3 m x 幅 2.9 m x 高さ 2.5 m)
栽培棚 8 台 (幅 152 cm x 奥行 61 cm x 高さ 183 cm 3 段) / 室
温度管理 : 25°C
 - 栽培室 3 (奥行 6.3 m x 幅 2.9 m x 高さ 2.5 m)
栽培棚 3 台 (幅 152 cm x 奥行 61 cm x 高さ 183 cm 3 段 x 2 台, 2 段 x 1 台) / 室
温度管理 : 10~35°C
- ※25°C以外の温度帯で利用を希望する場合は事前にご相談下さい。

利用の流れ

- ①事前打ち合わせ
- ②申請書の提出、審査
- ③採択の連絡、日程調整
- ④実験打合せ
- ⑤筑波大学遺伝子組換え実験従事者講習会受講
- ⑥遺伝子組換え実験計画承認申請
- ⑦実験承認後、組換え体の譲渡手続き
- ⑧栽培試験開始

利用上の注意点

利用に際して、本学受入教員との共同研究を原則と致します。受入教員は実験責任者として本学に対し遺伝子組換え実験を申請し、利用申請者と協調して研究を実施します。組換え体の管理、法令遵守につきましては、遺伝子実験センター及び実験責任者の指示に従って頂きます。違反が予測される場合には実験の中止を要請する場合がありますので、予めご承知置き下さい。

支援担当者への申し込みから2週間以内に受入教員より連絡します。利用申請者は受入教員と共同研究の条件をご協議頂き、合意後、利用申請書を事務局に提出して頂きます。また、遺伝子組換え実験計画承認申請に必要な情報、データ等を受入教員に通知して頂きます（承認を得るまでに平均3ヶ月程度かかります）。承認後、組換え生物の譲渡ルールに従って情報交換を行って頂き、組換え体の移送後、実験が開始されます。利用申し込みから実験開始まで半年程度の時間を要することをご理解ください。また、共同利用施設としての性格上、病害抵抗性や害虫抵抗性試験栽培は受け入れておりませんので予めご承知置きください。

費用負担

受入教員とご協議ください。学外利用者の旅費・宿泊費等は原則として利用者負担となります。

謝辞等

共同研究による成果を出版する場合は謝辞、Acknowledgements等に以下の内容を記載するようお願い申し上げます。

(日本語例)

本研究は最先端研究基盤事業・植物科学最先端研究拠点ネットワークの支援を受けて実施しました。

(英語例)

This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.

支援担当者 連絡先

miura.kenji.ga@u.tsukuba.ac.jp 三浦 謙治

(筑波大学遺伝子実験センター 准教授)